

報道関係各位

2026 年 10 月 16 日
株式会社トーホー

グループ全従業員とともにサステナビリティ経営を推進 「トーホーグループ サステナウィーク 2026」を開催

株式会社トーホー（本社：神戸市東灘区、代表取締役社長：奥野邦治）は、当社グループ全体の取り組みとして、「トーホーグループ サステナウィーク 2026」を 2026 年 10 月 19 日（月）から 11 月 3 日（火）の期間で開催いたします。

当社グループは、「食を通して社会に貢献する」という経営理念のもと、「美味しさ」そして「安心・安全、健康、環境」をキーワードにサステナビリティ経営を推進しており、従前からフェアトレードコーヒーの取り扱いをはじめとするサステナブルフードの開発・販売や、環境負荷軽減活動などを通じて、持続可能な社会の実現と事業の安定的な成長に取り組んでおります。

2021 年には「トーホーグループサステナビリティ方針」を制定、2024 年 2 月からスタートした現中期経営計画（3 カ年計画）「SHIFT-UP 2027」では、「サステナビリティ経営の推進」を重点施策の一つに掲げ、2025 年には「トーホーグループ人権方針・調達方針」を、2026 年には「調達ガイドライン」をそれぞれ制定するなど、サステナビリティに関連する取り組みを着実に推進しております。

本イベントは、当社グループの従業員一人ひとりがサステナビリティに対する理解を深め、具体的なアクションにつなげていくことを目的とし、商品の販売などを通じてお客様にも当社グループの活動を知っていただく機会とするものです。3 回目の開催となる今回は、株式会社ニチレイフーズ様を講師に迎え、当社グループが賛同している、マングローブ植樹活動「生命の森プロジェクト※」について、社内向けの講演会も実施いたします。

【「トーホーグループ サステナウィーク 2026」実施概要】

期間：2026 年 10 月 19 日（月）～11 月 3 日（火）

対象：トーホーグループ全社（国内）

取り組み内容：

- ① 事業所等での、社内外に向けサステナビリティ啓発ポスターの掲示
- ② 株式会社ニチレイフーズ様 「生命の森プロジェクト」についての社内向け講演会の開催
- ③ 全社での社内フードドライブ（「やさしさを、ひとつ届けよう」キャンペーン）の実施
- ④ 国内グループ従業員向けサステナビリティ教育の実施
- ⑤ お客様へのサステナブルフードのご案内

※「生命の森プロジェクト」とは

「生命の森プロジェクト」は、株式会社ニチレイフーズ様が、持続可能なえびの調達と自然環境の保全を目指し、2006 年にインドネシアで開始したマングローブの植樹活動です。現在はインドネシア、タイ、ベトナム、インド、マレーシア、マダガスカルの 6 ヶ国で展開されております。現地のえび（ブラックタイガー、バナメイエビ）を取り扱う当社グループは、2006 年から当プロジェクトに賛同しており、対象商品の購入時に、その買い付け代金の一部を負担することで、植樹に協力してまいりました。当社グループ

の購入によって植樹されたマングローブの本数は、2025 年までの累計で 72,906 本(推定)にのぼり、CO₂ 固定促進^(注1)による地球温暖化抑制、マングローブ林の生物多様性の保全の一助となっています。

- (注1) マングローブが光合成の際に二酸化炭素(CO₂)を吸収することで、大気中の二酸化炭素濃度を調節し、地球温暖化抑制につながります。マングローブの本数が増えると、その分マングローブ林の CO₂ 固定が促進されます。

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係者専用）】

株式会社トーホー コーポレート・コミュニケーション部 広報・IR グループ
山下・矢野 TEL：078-845-2523 FAX:078-857-1745